

第2回 Tsurui Lymphoma Workshop

7月24日（金）

開会挨拶 16:00 - 塾長 鈴宮淳司

ガイダンス「道東の魅力と今日からの3日間」 16:05 - 事務局 押味和夫

1. DLBCL: 遺伝子異常と標的療法 16:10 - 18:10

司会 福島伯泰（国際医療福祉大学福岡保健医療学部医学検査学科）

(1) GCB subtype に多い EZH2, BCL6 の異常 (20分) 中村文乃（愛知医科大学病院 初期研修医）

(2) ABC subtype に多い BCR, NF- κ B signaling pathway の異常 (20分) 藤澤 学（亀田総合病院 血液腫瘍内科）

(3) PI3K/AKT/MTOR (20分) 三浦勝浩（日本大学医学部血液膠原病内科）

司会 磯部泰司（聖マリアンナ医大血液内科）

(4) histone modification (MLL2, CREBBP, EP300, EZH2) (20分) 松縄 学（聖マリアンナ医大血液内科）

(5) BCL2, MYC (ABT-199 についても) (20分) 碓井喜明（亀田総合病院 血液腫瘍内科）

(6) personalized biomarker-driven therapy をめざして：

どの遺伝子異常が DLBCL 発生の key driver mutation なのか、どうしたら治療の target を見出せるのか (20分) 福島伯泰（国際医療福祉大学福岡保健医療学部医学検査学科）

2. Mantle cell lymphoma: 遺伝子異常と標的療法 18:10 - 19:00

司会 竹内賢吾（がん研分子標的病理プロジェクト）

(1) 遺伝子異常 (30分) 田川博之（秋田大学医学部血液内科）

(2) 現在の治療法をどうしたら改善できるか (20分) 北條敦子（春日部市立病院血液化学療法科）

7月26日（日）

3. 遺伝子異常の検出法 9:00 - 10:00

司会 田川博之（秋田大学血液内科）

(1) オーバービュー（具体的な方法とその長所・短所についても）(45分) 竹内賢吾（がん研分子標的病理プロジェクト）

(2) 我々が開発した全自動遺伝子解析装置による HCL 解析 (15分) 板村英和（佐賀大学血液内科）

4. 悪性リンパ腫の免疫療法 10:00 – 11:00

司会 高橋直人 (秋田大学血液内科)

(1) bispecific antibody (20 分) 上村 悠 (聖マリアンナ医大血液内科)

(2) CAR (chimeric antigen receptor) T 細胞 (20 分) 安藤美樹 (東京大学医科学研究所幹細胞治療分野)

(3) 抗 PD-1 抗体, 抗 CTLA-4 抗体 (20 分) 安藤 純 (順天堂大血液内科)

5. Lugano ICML 報告など 11:00 – 11:20 鈴宮淳司

6. 今回のまとめと来年へ向けて 11:20 - 11:30 鈴宮淳司